



ご挨拶

奥出雲町議会議長

千原祥道

新年明けましておめでとうございます。

町民の皆様には、平成二十四年の新春をご家族お揃いで健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、日本の観測史上最大規模の東日本大震災に見舞われ、本町からも救援物資、職員派遣など被災地支援が行われました。東北・関東罹災県の早期復旧を心から願うものであります。

さて、世界経済は、ギリシャの債務危機に欧州諸国の金融不況が深刻化し、戦後最高値の円高や産業空洞化により雇用環境が極めて厳しい状況にあります。また、六月に誕生した民主党野田政権は、震災復興やTPP、財政再建、税制改革など難しい政治運営下にあります。

一方、本町におきましては、尾原ダムの自転車・ボート競技施設が完成し周囲の観光施設と一体化した利用が望まれるところであり、学校・公共施設の耐震改修や、保育教育施設の整備も計画的に進み、たたらシンポジウムなど、町外への積極的な取り組みもなされております。

昨年、各界代表者より幅広く識見を集めた「奥出雲町総合計画」が策定されました。人口減少、少子高齢化、さらには、先細りする依存財源の中でまちづくりは一段と難しさを増してくると思われませんが、奥出雲町の豊かな自然と歴史、食文化、また温かくも粘り強い町民気質と気概をもってすれば必ずや発展はあるものと確信いたしております。

町議会といたしましても井上町長以下町執行部とともに英知を絞り、「心豊かで潤いと活力のある奥出雲」を目指し、町民の皆様のご要望を町の諸施策に反映すべく鋭意努力してまいりたいと存じますので、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

町民の皆様にとりまして、この一年が実り多い年でありますように、ご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます、新年のごあいさついたします。

平成23年度補正予算特別委員会報告

高尾小学校の大規模改修など補正予算額は2億6千万円
補正後の平成23年度予算総額168億5千4百万円

平成23年度一般会計補正予算
6事業特別会計補正予算

賛成多数原案可決
全会一致原案可決

補正予算額は、2億6千万円であり、補正後の予算総額は168億5千4百万円です。

主な歳出補正額は、簡易水道事業への繰出金である過疎対策事業債繰上償還費が5千3百万円、高尾小学校屋内運動場などの改修・耐震補強費が9千6百万円、高齢者生活ホーム整備費の補正が1千9百万円、公社住宅取得事業費が1千6百万円、その他人事異動に伴う補正や保育所運営委託料の補正などです。

全体質疑では、高尾小学校屋内運動場耐震改修の必要性とその計画について質疑を行いました。次に、高齢者生活ホームの当初設計と追加補正の関係、追加内容について質疑を行いました。

小委員会分割審査の報告では、総務文教小委員会から、高尾小学校工事費9千6百万円とインターネット接続上位回線への変更費48万円の審査報告がありました。

歳入の福祉基金103万円の内容や歳出の電気自動車急速充電施設整備535万円の補正などの審査報告がありました。

産業建設小委員会から、歳入の社会資本整備総合交付金5千585万円や強い農業、つくり交付金6千350万円減額による代替措置について、また歳出では、山陰文化観光圏個別支援事業での観光協会補助金445万円のレンタルサイクル整備方針についての審査報告がありました。

今回の歳出補正額2億6千万円の財源は、国県支出金が660万円、合併特例債を含めた町債が1億4千万円、一般財源などが1億1千万円であり、補正後も財調・減債基金も11億8千万円が保持されています。

学校、公共施設の耐震改修は、財政事業を鑑み計画的な対応が必要であります。

この度の補正は、いずれも適正と認め、賛成多数で原案可決いたしました。